

1. 再生拠点等における整備コンセプトについて

(1) はじめに

旧スマイルビル周辺及び旧小林ビル（以下、「再生拠点等」という。）の整備に向けた導入機能の構成及び配置を検討するにあたって、滝川駅周辺地区再生整備基本構想に基づき、市民ワークショップ「居場所づくり会議」や団体ヒアリング、民間事業者プレヒアリングの意見等を踏まえ、再生拠点等の整備コンセプトを設定します。

● 市民ワークショップ「居場所づくり会議」

幅広い世代の市民ニーズや意見を把握するため、次のとおり公募型のワークショップを開催しました。

	日時・場所	内 容
第1回	日時：令和6年6月13日(木) 18:00～20:30 場所：滝川市民交流プラザ	テーマ：「コンセプト」を共有する ～構想を知る！駅前を考える～ ①講演：一般社団法人新渡戸遠友リ빙グラブ理事長 小篠隆生 氏 『多様な参画による居場所の復権を目指す再開発は可能か「まちの居場所づくりと再開発」』 ②グループディスカッション コンセプトをふまえて滝川の駅周辺地区をどのような場所にしていきたい？
第2回	日時：令和6年6月27日(木) 18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ	テーマ：（仮称）駅前交流施設の機能を考える ～施設の具体的なイメージについてみんなでアイデアを出してみよう！～ ①グループディスカッション テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう

※今後の予定

第3回	日時：令和6年8月22日(木) 18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ	テーマ：「（仮称）駅前交流施設の活用イメージを考える」 ～各世代ごとの具体的な使い方は？～
第4回	日時：令和6年9月25日(水) 18:00～20:00 場所：滝川市民交流プラザ	テーマ：「（仮称）駅前交流施設の企画・運営方法を考える」 ～より良い施設にするためにはどのように企画・運営をしていったらよいだろう？～

● 団体ヒアリング

若い世代による意見のほか、駅前開発における可能性に対する意見、市内経済の動向等を把握するため、駅前で活動する団体や事業者、市内青年経済人、学生等との意見交換を実施しました。

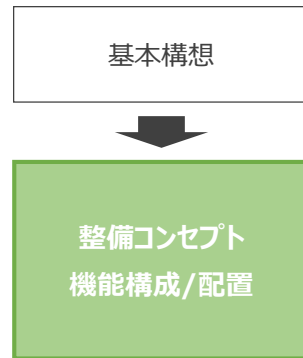
実施時期	令和6年3月～7月
実施方法	対面ヒアリング
対象団体	國學院大學北海道 短期大学部 滝川西高等学校 滝川金融協会 滝川駅前商店街振興組合 滝川商工会議所政策研究会 滝川商工会議所青年部 滝川市内小中学校PTA役員 滝川消費者協会

※ 今後、國學院大學観光まちづくり学部との意見交換や市内各高校生と市長との懇談を実施予定。（8月下旬を予定）

● 民間事業者プレヒアリング

公募型サウンディング調査の実施に向け、駅周辺整備事業に対する関心度や施設整備に関する意見といった基礎情報を把握するため、ホールや子ども向け施設の運営実績がある民間事業者にヒアリングを実施しました。

調査時期	令和6年5月9日（木）～ 5月21日（火）
調査方法	対面調査
対象企業	6社（ホール運営者4社、子ども向け施設運営者1社、イベント企画会社1社）



(2) 再生拠点等の整備コンセプト

整備コンセプトについては、市民ワークショップ「居場所づくり会議」や団体ヒアリング等を実施する中で具体的な検討を進めてきたところですが、基本構想が掲げるビジョンや様々な意見を踏まえると、今後駅周辺地区において、誰もが気軽に集い、多様な活動や交流が展開されることによって賑わいと魅力が生まれていくことが重要と考えます。

以上を踏まえ、取組の展開方針や再生拠点整備テーマの実現に向けた整備コンセプトを次のとおり整理しました。



再生拠点等の整備コンセプト

① "私たちの居場所"づくり

- 学生による勉強やおしゃべり、親子同士の交流のほか、公共交通機関の待合やちょっとした息抜きにも利用できる居心地の良い空間をつくり、賑わいの創出を目指します。
- 滝川に培われてきた多様な市民活動やイベント、フェスティバルなどを開催できる場をつくるとともに、その場にいる人々をつなぎ、多世代による交流の創出を目指します。

いつも誰かと
“集まる”

その場所で
“ゆるくつながる”

体験して
“学ぶ・楽しむ”

② 新たな"滝川の顔"づくり

- 誰もがチャレンジ、活躍できる場をつくり、魅力の創出を目指します。
- 滝川の歴史や文化、観光資源など、まちの魅力を発信し、“駅前”のイメージ転換を目指します。

魅力づくりに
“挑む”

まちの魅力を
“感じる”

2. 再生拠点等における機能構成・配置等について

(1) 導入機能の構成

基本構想において整理した導入機能の候補に基づき、整備コンセプトや市民意見等を踏まえて、再生拠点等における導入機能を次のとおり整理しました。

▼ 旧スマイルビル周辺に導入する機能

導入機能の候補		具体的な施設名称	基本構想	居場所づくり会議	団体ヒアリング	導入機能	整備施設名称等
賑わい交流機能	交流機能	イベントスペース	○	○	－	○	野外交流広場・ポケットパーク
		広場・中庭	○	○	○		多目的室（プレイスペース）
		フリースペース	○	○	○		交流ロビー（コミュニティラウンジ）
		交流ロビー	○	○	○		会議室・スタジオ
		会議室	○	○	○		
		スタジオ	○	○	－		
	文化機能	ホール	○	○	－	○	ホール
	教育文化機能	ギャラリー	○	○	－	△	交流ロビー（コミュニティラウンジ）、多目的室（プレイスペース）との兼用を検討。 多目的室（プレイスペース）との兼用を検討。 関連計画等の方針やまち全体の機能分担を踏まえ、整備対象外。
		図書館・図書スペース	○	○	－		△
	子ども科学館	○	○	－	交流ロビー（コミュニティラウンジ）との兼用を検討。 民間商業施設であることから、民間事業者ヒアリングによって導入を検討する。 また、野外交流広場や交流ロビー（コミュニティラウンジ）におけるフリーマーケットの開催やホールを利用した映画上映等、ソフト事業による利用は想定。		
	健康機能	スポーツジム	○	－	－	△	
	娯楽機能	子どもの遊び場(キッズスペース)	○	○	○		
		カラオケ	－	○	－		
		スクボパーク	－	○	－		
		本屋	－	○	－		
		ショップ、工具店	－	○	－		
		模型店・服	－	○	－		
		映画館	－	○	－		
		eスポーツ	－	○	－		
		ゲームセンター	－	○	－		
		インターネットカフェ	○	○	－		
		ボウリング場	－	○	－		
		テーマパーク	－	○	○		
		複合商業施設	－	○	○		
		サウナ施設	－	○	－		
滞在サービス機能	商業機能（飲食）	カフェ	○	○	○	△	チャレンジスペースとの兼用を検討。
		子ども地域食堂	－	○	－		
		飲食店	○	○	－		
	商業機能（小売）	立ち飲みスペース	－	○	－		
	コンビニ	○	○	○	○	チャレンジスペースとの兼用を検討。 チャレンジスペース	
	チャレンジショップ	－	○	○			
駅前サービス機能	交通結節強化機能	公共交通待合場所	－	－	○	○	交流ロビー（コミュニティラウンジ）との兼用を検討。 駐車場
	駅前機能	駐車場	○	○	○		
		観光案内所	○	○	－	○	まちの案内所
		物産館	○	－	○		交流ロビー（コミュニティラウンジ）やまちの案内所との兼用を検討。 再生拠点等の整備コンセプトを踏まえ、整備対象外。
		ホテル・ゲストハウス	○	○	○		
上記以外の機能		福祉関係の相談窓口	－	○	－	×	基本構想における導入機能の候補としていないことから、整備対象外。
		親子広場	－	○	－		
		学校	－	－	○		
		託児所/学童	－	○	○		
		シェアオフィス	－	○	○		

▼ 旧小林ビル整備に導入する機能

導入機能の候補						導入機能	整備施設名称等
		具体的な施設名称	基本構想	居場所づくり会議	団体ヒアリング		
交流機能		緑地、広場	○	○	○	○	ポケットパーク
文化機能		ホール	○	○	－	×	
教育文化機能		図書館、科学館	○	○	－	×	
娯楽機能		屋内遊戯施設	○	○	○	×	
行政機能		官公庁施設	○	○	－	×	
商業機能		スーパーマーケット	○	－	－	×	再生軸（ベルロード）を中心とした人の流れや活動の波及を創出するため、旧トピアビル整備と同様の機能整備を図ることから、整備対象外とする。
健康機能		運動施設（フィットネス等）、温浴施設	○	○	－	×	
医療機能		病院・診療所（産科）	○	－	－	×	
子育て支援機能		こども発達支援センター、保健センター、幼稚園、保育園、認定こども園	○	○	－	×	

導入機能（整備施設）と整備コンセプトの関係性

市民駐車場

- 誰もが利用できる大型の市民駐車場。駅周辺地区のアクセス性を向上。

会議室・スタジオ

- 各種研修や会議、サークル活動のほか、練習スタジオ等にも活用できる場。

多目的室（プレイスペース）

- コミュニティラウンジと一体的な空間を演出できる多目的スペース。一体的利用によるコンサートやセパレート利用によるセミナーや講演会等など、様々な利用を可能とする空間を検討。

交流ロビー（コミュニティラウンジ）

- 誰もが気軽に、かつ、自由に過ごせるフリースペース。
- 友人とおしゃべりや打合せ・相談、勉強・仕事等、多様な利用ができる“居場所”となる場。
- 子どもが遊び、楽しむことができる「子どもの居場所」空間も確保。
- 地元アーティストや学生、文化団体などによる作品展示機能（ギャラリー機能）の導入も検討。

ホール

- 音楽コンサートや演劇、講演会等の幅広い利用が可能な多目的ホール。あらゆるジャンルの市民活動を発表する場所となる空間を確保。

チャレンジスペース

- 飲食、物販など滝川で挑戦ができる場。

ポケットパーク

- 市街地内に設置する小スペースの屋外広場。
- 商業空間としての実験的な取組など、効果的な活用に向けて官民協働によって検討。

野外交流広場

- 様々なイベント、フェスティバルに対応する屋外広場。
- 多様な活動ができる空間づくりによって交流を推進。

まちの案内所

- 滝川の観光案内等を行う場。

いつも誰かと
“集まる”

その場所で
“ゆるくつながる”

体験して
“学ぶ・楽しむ”

魅力づくりに
“挑む”

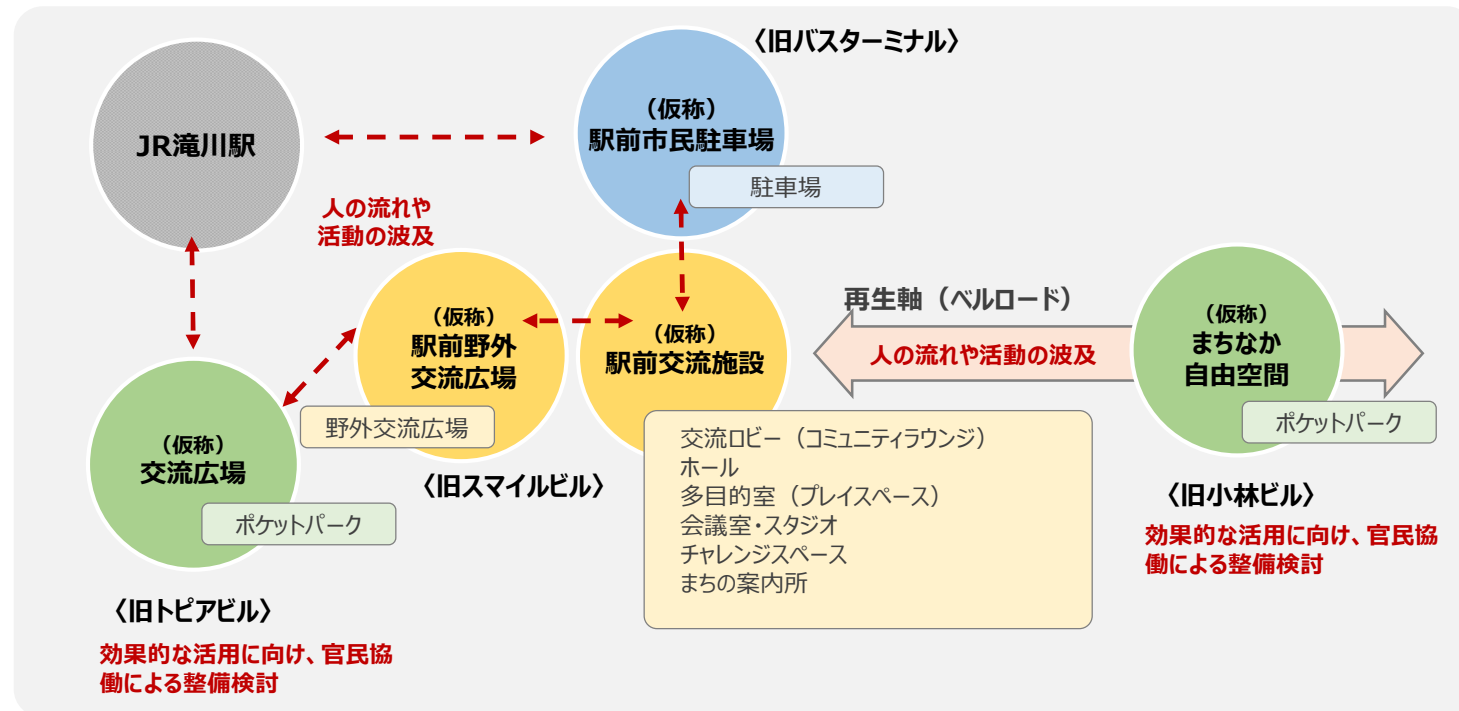
まちの魅力を
“感じる”

「私たちの居場所」づくり

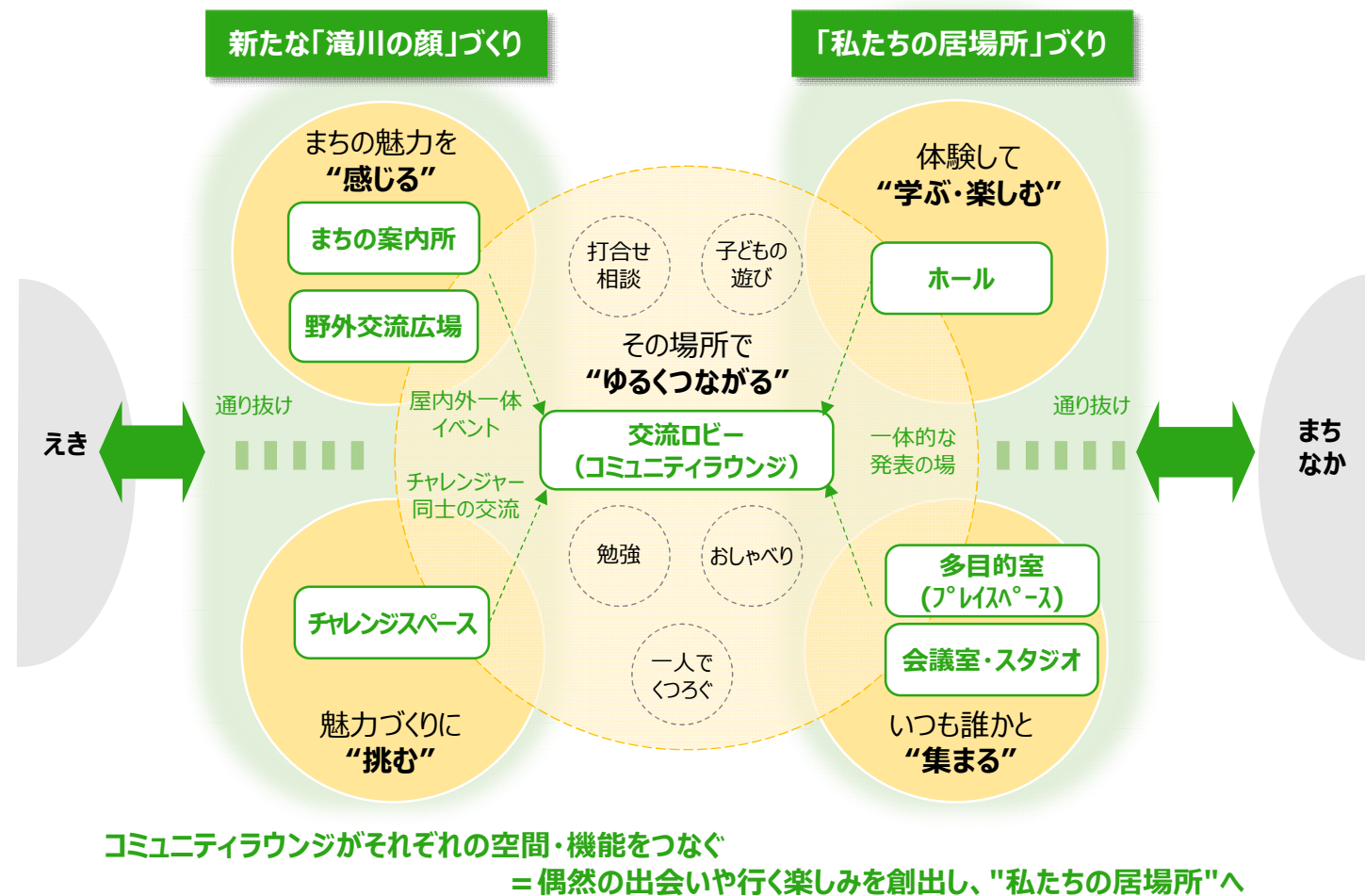
新たな「滝川の顔」づくり

（２）導入機能の配置と関係性

▼ 再生拠点等における機能配置モデル



▼(仮称)駅前交流施設における機能の関係性



コミュニティラウンジは、誰もが気軽に過ごせるフリースペースであるほか、自由に通り抜けできる場として"えき"と"まちなか"をつなぎ、また、ホールや多目的室、まちの案内所等の各機能をつなぐことで、偶然の出会いや行く楽しみを創出します。

（３）施設規模の想定

基本構想における機能構成イメージ

ケース1

ケース2

ケース3

〈旧スマイルビル〉

賑わい交流機能

文化機能

・ホール 約1,040㎡
(500席/固定席)

交流機能

・交流ロビー 約250㎡

・会議室、スタジオ等
(規模:大) 約400㎡

教育文化機能

・ギャラリー 約200㎡

娯楽機能

・屋内遊戯施設 約600㎡

健康機能

・スポーツジム 約200㎡

滞在サービス機能

商業機能

・カフェ、コンビニ 約100㎡

駅前サービス機能

駅前サービス機能

・観光案内所 約60㎡

施設延床面積
約4,200㎡

※事務室、機械室、共用部等
約1,350㎡を想定。

概算工事費
約55億円

賑わい交流機能

交流機能

・屋外広場 約2,000㎡

旧バスターミナル

駅前サービス機能

交通結節機能

・駐車場(約100台)

旧トピアビル

賑わい交流機能

交流機能

・ポケットパーク等

滞在サービス機能

商業機能

・小売店等

モデルプラン

(仮称) 駅前交流施設

賑わい交流機能

文化機能

・ホール 約1,050㎡
(約500席)

交流機能

・交流ロビー(コミュニティラウンジ) 約500㎡

・会議室、スタジオ
・多目的室(プレイスペース)
約350㎡～
約300㎡～

教育文化機能

(交流ロビー、多目的室 利用等)

娯楽機能

(交流ロビー 利用等)

健康機能

(多目的室 利用等)

滞在サービス機能

商業機能

・チャレンジスペース 約50㎡～

駅前サービス機能

駅前サービス機能

・まちの案内所 約60㎡～

施設延床面積
約3,200㎡～

※事務室、機械室、共用部等約890㎡を想定。

概算工事費
約46億円～

(仮称) 駅前野外交流広場

賑わい交流機能

交流機能

・野外交流広場 約2,000㎡

(仮称) 駅前市民駐車場

駅前サービス機能

交通結節機能

・市民駐車場(約100台) 約3,100㎡

(仮称) 交流広場・(仮称) まちなか自由空間

賑わい交流機能

交流機能

・ポケットパーク

滞在サービス機能

商業機能

・チャレンジスペース

旧トピアビル

旧トピアビル
約1,040㎡

旧小林ビル
約580㎡

※民間事業者の意向
により詳細検討

- 今後の検討課題について -

- 民間事業者の意向や住民意見を踏まえつつ、具体的な規模や配置等のほか、事業手法を詳細に検討。
- また、国の交付金等の財源対策も含め、事業費を精査するとともに、市財政シミュレーションも並行して検証。

参考資料 1 市民ワークショップ「居場所づくり会議」の実施結果

第1回 居場所づくり会議

日時：令和6年6月13日（木）18:00～20:30

場所：滝川市民交流プラザ

出席者：21名

傍聴者：27名

概要：

1. 趣旨説明
2. 講演

一般社団法人 新渡戸遠友リビングラボ
理事長 小篠隆生 氏

『多様な参画による居場所の復権を目指す
再開発は可能か～まちの居場所づくりと再開発～』

3. 休憩・質疑応答
4. グループディスカッション

「コンセプト」を共有する

～構想を知る！駅前を考える～

〈テーマ〉
コンセプトをふまえて滝川の駅周辺地区をどのような場
所にしていきたい？

5. グループ発表
6. 総評
7. 閉会

▼中心市街地活性化協議会 明円会長による挨拶



▼小篠隆生氏による講演



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



各グループ発表を踏まえた総評（概要）

- ・ 人がまちに行くのは予定していないことが体験できるから。そういった体験が駅前できなくなっている。
- ・ 具体的な機能が多く出てきたが、なぜそれが欲しいのかという根本的な意味を考えていかなければいけない。
- ・ スタバのような一人でしやすい場所を作るには、受け入れてあげるような状況を作る必要がある。
- ・ そのためには、機能を決めない・自由な使い方をできる運営の仕方が重要である。
- ・ 駅前にそのような多様な人・使い方を受け入れる場所は他に「映え」であると感じる。

➡ 本日発表のあった個々の意見について、みんなが共有できるようなキーワード、テーマに落とし込む必要がある。

第2回居場所づくり会議

日時：令和6年6月27日（木）18:00～20:00

場所：滝川市民交流プラザ

出席者：23名

傍聴者：11名

概要：

1. 趣旨説明
2. 前回の振り返り
3. グループディスカッション

（仮称）駅前交流施設の機能を考える

～施設の具体的なイメージについて
みんなでアイデアを出してみよう！～

〈テーマ〉

テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう

4. 休憩
5. グループ発表
6. 総評
7. 閉会

▼グループディスカッションの様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



各グループ発表を踏まえた総評（概要）

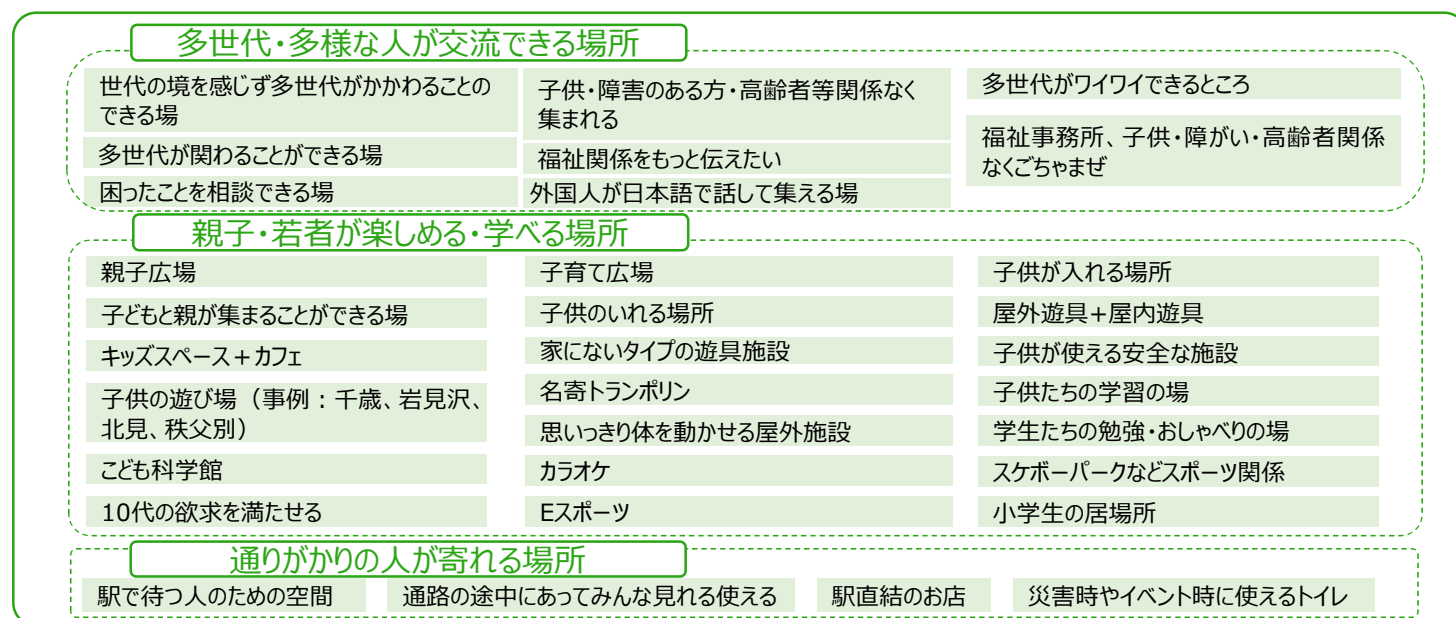
- ・ 学校の活動を展開してまちの活性化につなげるには地域の力が必要。
- ・ 滝川ならではの生活の中にある文化を自慢できるようにする。
- ・ 上の世代の経験を次の世代に引き継ぐような体験ができる場所が多世代交流の場。
- ・ 居場所づくりには気楽に入れる場所が大切。
- ・ 人を呼ぶには「駅前」というアドバンテージがある。
- ・ 魅力化するうえではそこにしか売っていないものを売ることも大切。

➡ 滝川とはこういうまちであるという「一つのストーリー」ができるようなものが欲しい。
滝川ならではの生活「滝川スタイル」を市民が気軽に自慢できるような状態を作りたい。

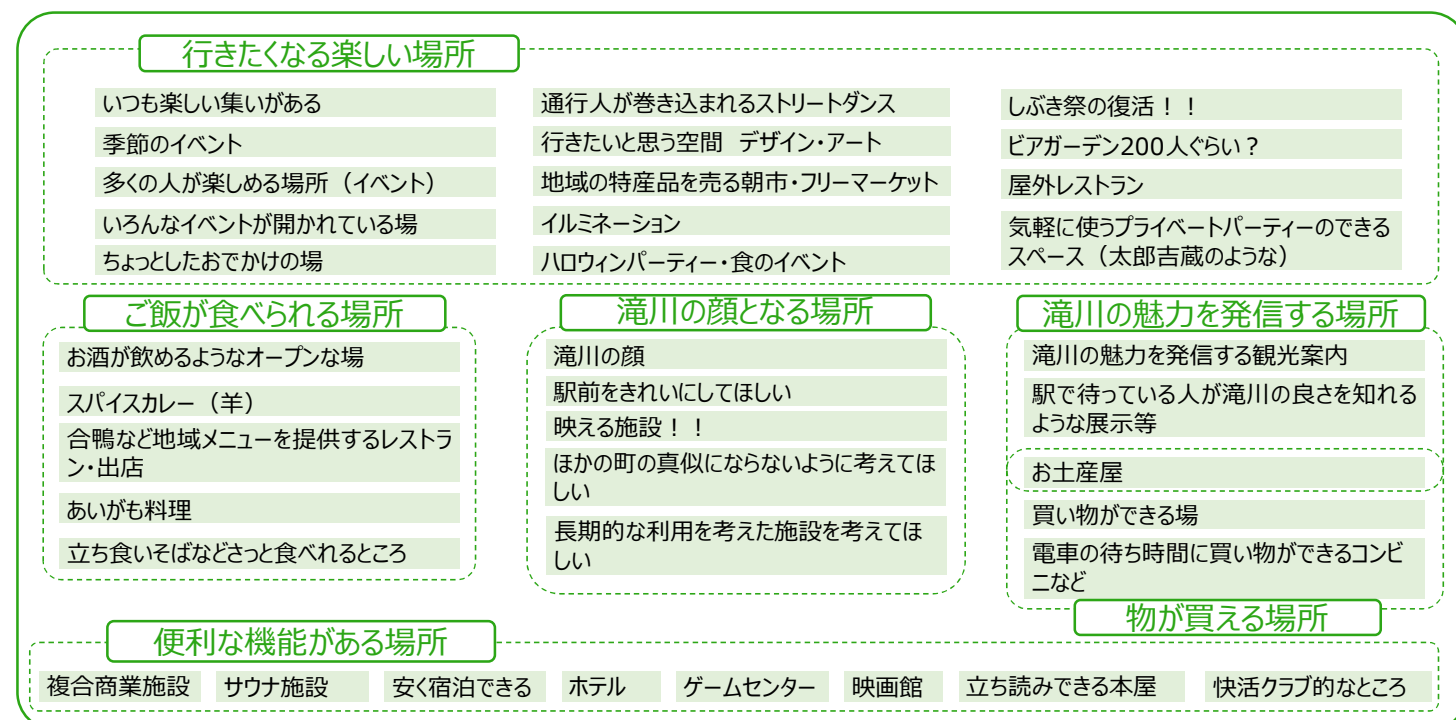
第1回 居場所づくり会議「コンセプトを共有する ～構想を知る！駅前について考える～」

ディスカッションテーマ：滝川駅周辺地区をどのような場所にしていきたいか？

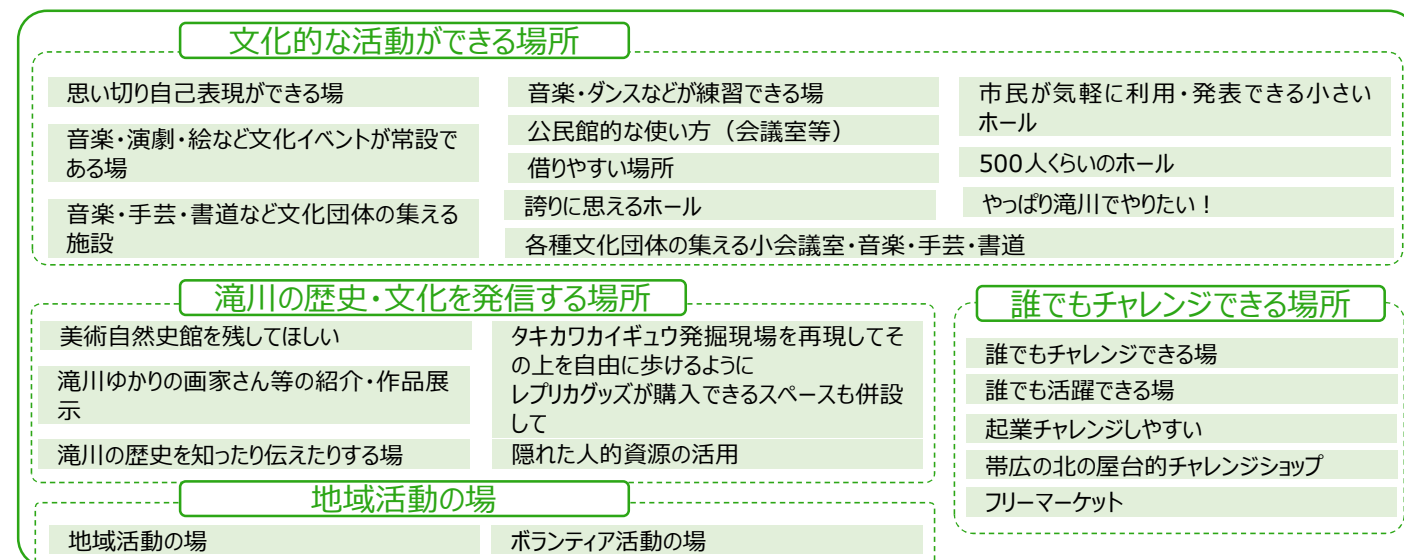
滝川駅周辺地区をどのような場所にしていきたいか、グループディスカッションやアンケートによる主な意見を「〇〇な場所」で整理しました。※一部意見の抜粋



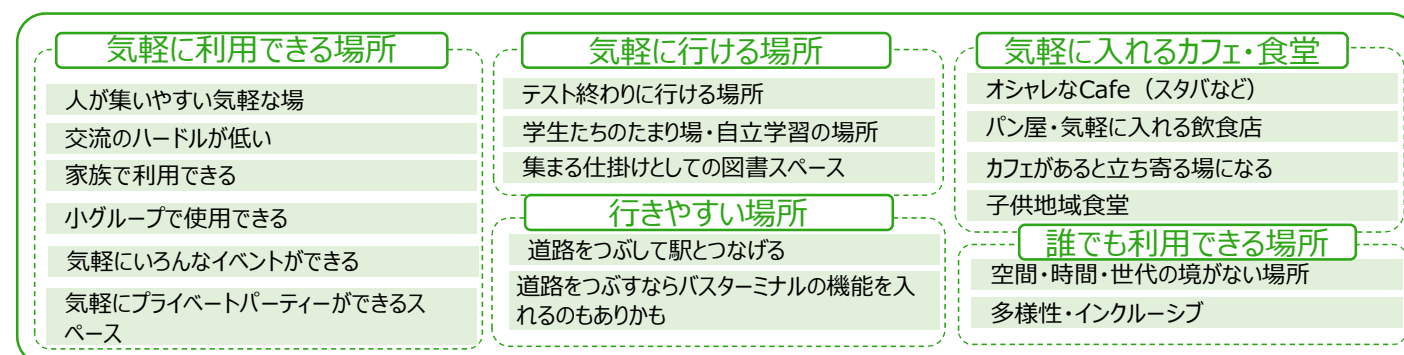
1. 多世代の交流や学びが生まれる場所



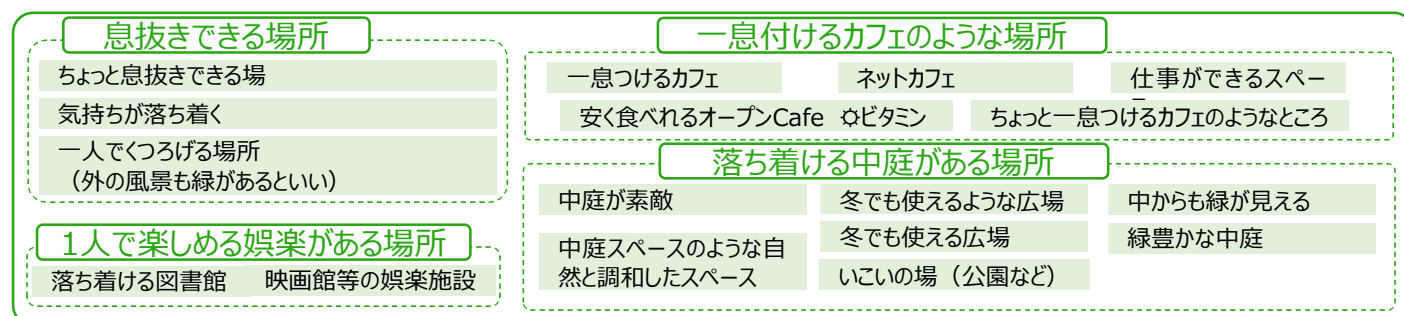
3. 行きたくなる魅力がある・新たな出会いがある場所



2. 文化を育む・挑戦できる場所



4. 気軽に行ける・集える場所



5. ひとりで居やすい・居心地がいい場所

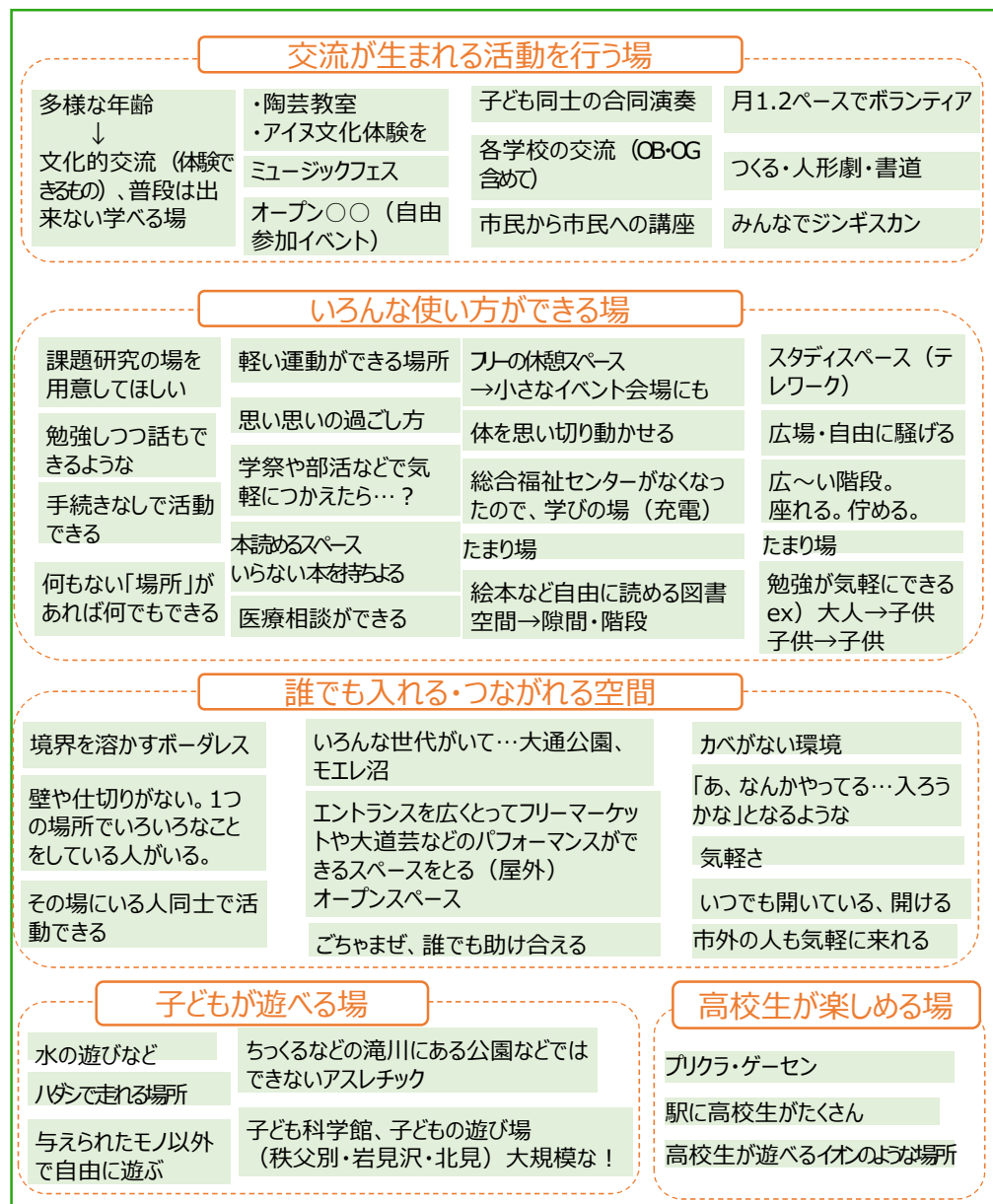
第2回 居場所づくり会議 「(仮称)駅前交流施設の機能を考える ～施設の具体的なイメージについてみんなでアイデアを出してみよう！～」

ディスカッションテーマ：テーマごとに『駅前に創る』ことを活かして、ふさわしい機能や具体的な施設イメージを深掘りしよう

第1回の意見から整理した5つの「場所」のうち、居場所に関する性格・コンセプトに関わる3つの「場所」について、深掘り検討しました。

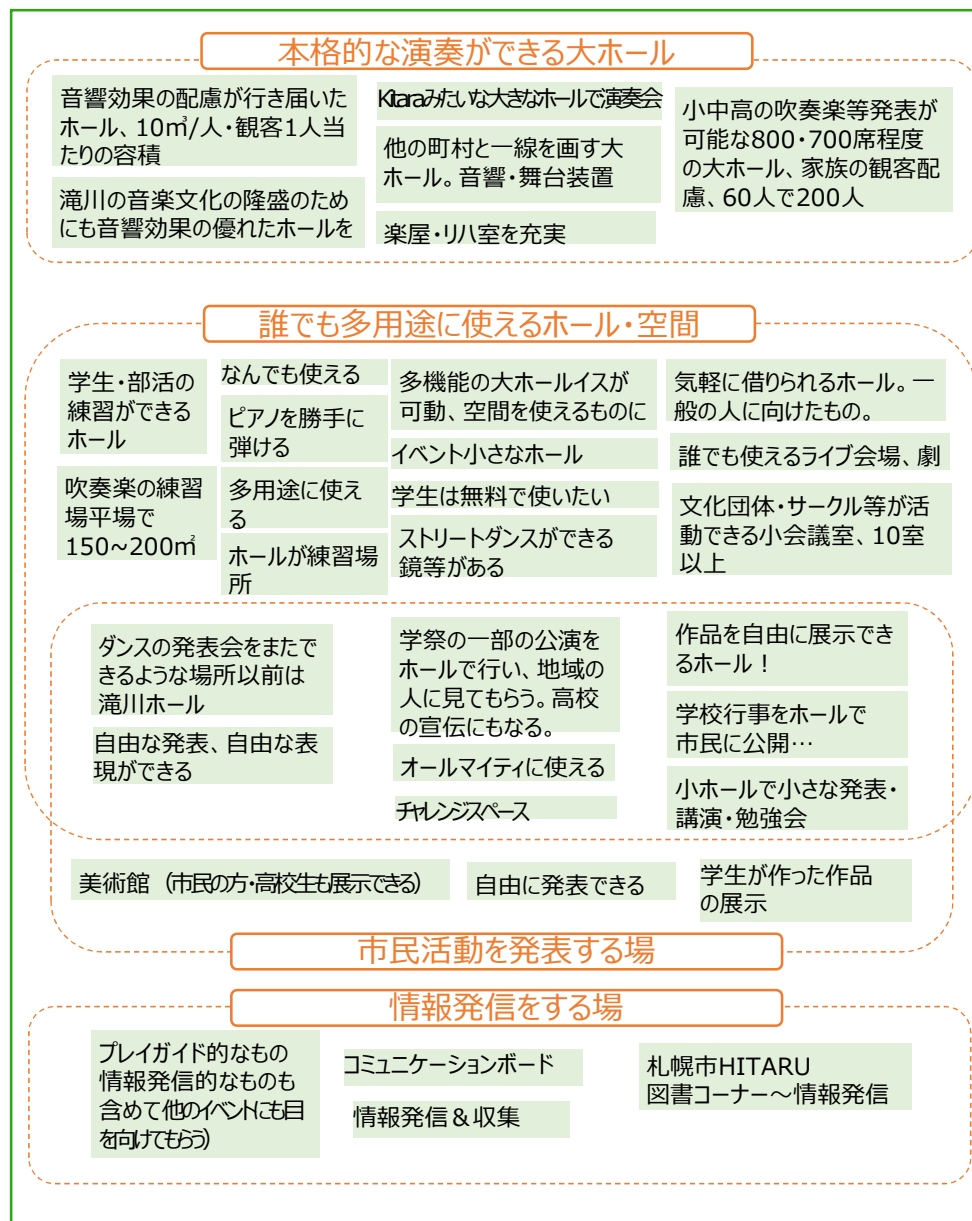
※一部意見の抜粋

1.多世代の交流や学びが生まれる場所



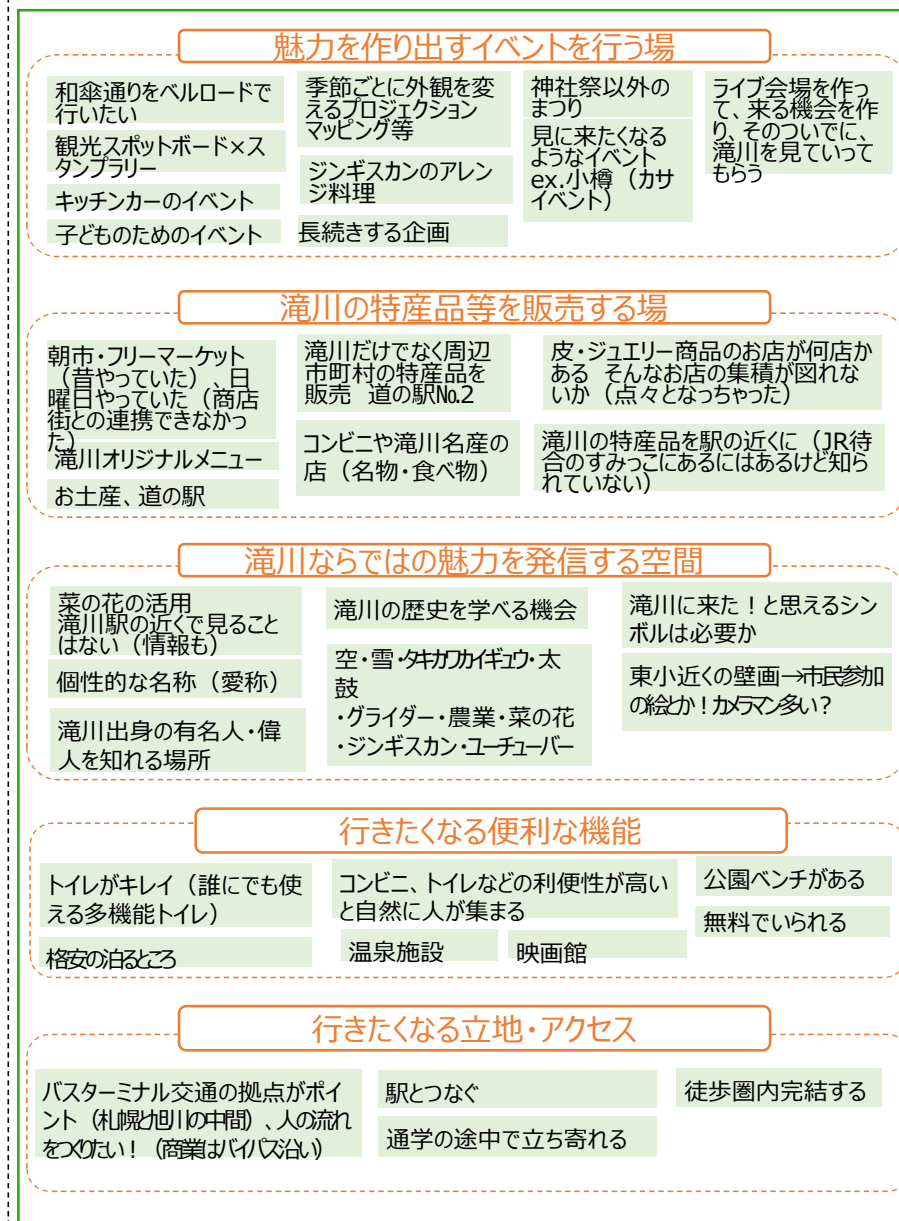
多様な人が様々な活動・過ごし方を
通してつながれる施設

2.文化を育む・挑戦できる場所



本格的な文化のみならず
市民の日常の文化も育み発信する施設

3.行きたくなる魅力がある・新たな出会いがある場所



便利な「駅前」で滝川ならではの
魅力をつくり発信する施設

参考資料 2 団体ヒアリングの実施結果

若い世代による意見のほか、駅前開発における可能性に対する意見、市内経済の動向等を把握するため、駅前で活動する団体や商業者、市内青年経済人、学生等との意見交換を実施しました。

滝川商工会議所政策研究会との意見交換 R6.3.18 16:00～17:15 〈導入機能に関すること〉 - 駅前高校を検討に加えてほしい。 - 駅周辺にビジネスホテルができれば、三楽街への派生効果も期待できと思う。 〈その他〉 - 駅前が寂れている。綺麗にすることは素晴らしいこと。 - とにかく駅前をなんとかしてほしいと思う。 - 駅前の整備は長年望んでいたこと。駅前を綺麗にしてほしいとの意見が多い。 - 寂れているベルロードも具体的にやっていく事を示せば、市民にも賛同して貰えるのではないかと思う。 - 駅前の価値を上げれば、民間事業者も活かせると思う。 - 民間の知恵を絞って計画を良くしていきたいと思う。 - P F I で駅前高校を作って欲しい。 - 市民に正しい情報を広めていければと思う。	國學院大學北海道短期大学部総合教養学科 板垣助教 セミナールⅡ 「まちなかに何があったらいい？？」 R6.6.13 11:00～14:00 〈フィールドワークの感想(地区の現状等)に関すること〉 - 学生の往来はあるが、特定の時間のみ。基本人通りがない。 - 定食屋や食堂はあるが、ふらっと入れる場所がない。 - 出店数が目視調査で24店。同一業種（理容院や婦人服等）の商店しかない。 - 商店街というほど商店がない。 - 景観がよくない。イメージが悪い。駅前の景色の中心に駐輪場がある。 - 商店街なのに車道が広い。アーケードが真上のみ。 〈地区の理想的なイメージ・コンセプトに関すること〉 - 古いものを活かしたまちづくり。テーマパークのような商店街。外から集客する工夫が必要。昭和レトロ。 - 昭和のデパートのような商業施設に。 1階ホール、2階休憩スペース、快適性がある拠点。 - 商店街を再起するのではなく、商店街が持っていた役割を伝承した地区。商店街として定義しない。 - 札幌市の狸小路のように老舗を2階に移転、路面店は新規創業者による店に変更。 - 大通公園のような公園をベースとした地区づくり。 - 駅前に学校を移転。駅前地区が学生の街となるように。 - 地域の強みを活かす。例えば、気候を活かす、夏でも雪があるなど。 〈導入機能に関すること〉 公共交通の待ち時間等、滞在できる場。人が気軽に集まれる場、居場所となる空間。目的なく滞在しても違和感のない空間。 - ホール機能が整備されるのであれば、隣接した駐車場が必要。 駅やバスとのスムーズな乗り換えが可能となるしかけ。 - 地域性を感じられる機能。滝川の魅力等。 持続性のある機能で流行に左右されないものが必要。 - 歩行空間の整備。一方で、車社会であることから駐車場。 市の機能集約。 ビジネスホテル	滝川商工会議所青年部との意見交換 R6.7.3 18:30～17:30 〈導入機能に関すること〉 旧トピアは駐車場にしてはどうか。（100台では少ないと思う。） スポーツジムは必要ない。 - 大人の利便性だけでなく、子どもが集まる場所。 〈その他〉 - 運営を民間でやってくれると良い。（D B Oが良い） - 駅周辺整備事業に関する周知の工夫が必要。 - 道路整備も併せて行ったほうが良いのでは。 - ホールがなぜ必要かという説明があっても良いのでは。 - 起業への補助等、後押しがあっても良いのでは。 - プロスビルも何とかしてほしい。 - アーケードも限界がきている。
滝川西高等学校 授業科目「総合的な探究の時間」における 研究グループ生徒と市職員との意見交換 R6.5.22 16:00～17:00 〈導入機能に関すること〉 - 滝川駅周辺に学生が集える場所が欲しい。 - 勉強や会話ができ、フリーで入れるよう場所がほしい。（机、イスがほしい） 飲み物や軽食が買えるようなところがほしい。 - 駅に着いた際に建物が近いと圧迫感があるので、屋外広場があるとひろびろ感じられて良いと思う。	滝川市内小中学校PTA役員との意見交換会 R6.7.9 18:30～20:00 〈導入機能に関すること〉 - 色々な意見交換会に出席しているが、ちょっとした飲食、カフェなど構想に書かれているものに大体はまっているイメージ。 民間のホテルがあったら良い。 子どもたちが集まれる・入れる場所が必要。 レンタルスペースがあると良い。 学生が勉強できるスペースがあると良い。 - 緑の芝が駅側にあるが、野外イベントを施設の中からも見えるようにすると良い。 - ビアガーデンなど毎週イベントがやっていると良い。 部活動の練習ができるようなホールだと良い 〈その他〉 - イベント時、道路を通行止めにする必要も必要。 - 民間が運営する方が他自治体を見ても成功している。	
滝川金融協会との意見交換 R6.6.4 13:30～15:00 〈導入機能に関すること〉 高校生の勉強場所があると良い。 公共交通等を待つ場所があると良い。 こどもを預ける場所があると良い。 - 苗穂の事例では、住居＋シェアオフィスが好評。 - 囲碁、将棋、麻雀ができるようなスペースは活気があった。 貸し会議室として大人数が使える空間（空知の結集場所）があると良い。 簡易宿泊機能など素泊まりできるところがあると良い。 物産館、カフェがあると良い。 駐車場があると良い。 初期投資が少なくお店を出せるところがあると良い。	滝川駅前商店街振興組合との意見交換 R6.6.14 18:00～19:00 〈導入機能に関すること〉 - 駅周辺にちょっとした食料が買えるところがあると良い。 コンビニ、カフェがあると良い。 - 子どもが室内で遊べる場所があると良い。 老人が集まれる場所があると良い。 - 子どもが豪雪地帯の雪を楽しめるような仕掛けがあると良い。	滝川消費者協会との意見交換会 R6.7.12 14:00～15:00 〈導入機能に関すること〉 - 施設が大きいのに駐車場が小さいと思う。 - 高齢者でも行けるような施設にして欲しい バスの待合所がない。また、待っている間に使えるところもない。 〈その他〉 - 滝川の市民だけでは賑わいにならないと思う。 - 旧バスターミナルから渡る道路は危ないと思うので対策が必要。 - 他自治体に負けない何か、他がやっていないものをやって貰いたい。

導入機能
に関する
主な意見

- 駅前という立地からバスやJR利用時における待合空間として利用できる"居場所"。
- 滞在時の利便性向上のため、カフェや飲食といった商業機能。
- それぞれが自由に過ごすことのできる空間、かつ、滞在していても違和感のない快適性の高い空間。

参考資料3 民間事業者プレヒアリングの実施結果

公募型サウンディング調査の実施に向け、駅周辺整備事業に対する関心度や施設整備に関する意見といった基礎情報を把握するため、ホールや子ども向け施設の運営実績がある民間事業者にヒアリングを実施しました。

調査概要

調査時期：令和6年 5月9日（木）～ 令和6年 5月21日（火）
調査方法：対面調査
調査対象企業：6社（**A**：ホール運営者 4 社、**B**：子ども向け施設運営者1社、**C**：イベント企画会社1社）

結果概要

質疑内容		質疑対象			ヒアリング結果（主な意見）
大項目	小項目	A	B	C	
本事業や滝川駅周辺地区に関する興味・関心	本事業への参画意向の有無	○	○		・ 5社のうち、3社が「魅力的」、2社が「どちらでもない」と回答した。（類似施設の実績によるノウハウを活かすことができるため、立地条件も良く滝川のシンボリックな施設となるため）
	滝川駅周辺地区の立地条件や周辺環境に対する印象	○	○		・ 5社のうち、2社が「魅力的」、2社が「どちらでもない」、1社が「あまり魅力を感じない」と回答した。（市民に認知してもらいやすい、駅前エリア全体の活性化につながる、立地や周辺環境はそれほど重要でない）
滝川市・中空知地域でのイベント開催需要について	滝川市及び中空知地域での興行開催需要に関する意見			○	・ 旭川と商圈が重なることが想定されるものの、需要と供給がマッチすれば興行を誘致することは可能。 民間事業者の参画意向が確認できた。また、立地条件についてもネガティブな意見は少なかった。
施設内容について	ホールの仕様に関する意見	○		○	【席数】 - 商業利用の場合、約1,000席以上なければ採算が取れないが、市民利用であれば300～700席程度でよいと考えられる。 【席の仕様】 - 音響の質の確保のためには固定席が良い場合もあるが、使用する楽器のジャンルにより適切なホール形状は異なる。 - 可動席は、出演者側からの幅広い要望に応えられるほか、座席撤去時に様々な用途で柔軟に利用できる。可動席とする場合には、1脚ずつ並べずに済む電動式可動席が良い 【駐車場】 - 駐車台数の不足が懸念されるため、興行開催時のみ臨時駐車場を用意するなどの対策を行うべきである。 【必要な施設・設備】 - ホール以外の機能の利用者も考慮すべきである。 - 客動線、スタッフ用の裏動線、及び荷物搬入の動線など、興行開催時の人や物の流れに配慮した施設計画が必要である。 - 特殊な設備はイベント企画者側で用意できるケースが多いため、ホール設備を最低限として、代わりに利用料金を抑えた方が良い。 採算が取れる興行を行うには約1,000席以上の規模を必要とするが、ホールの主目的を定め、コンセプトに沿った施設計画を行うことが肝要。
	子ども向け施設に関する意見		○		・ これまでの実績から、施設規模は500～600㎡、ターゲットは0歳～小学校低学年程度が想定される。 ・ イベントの開催等で柔軟な使い方ができるスペースがあると良い。 子ども向け施設は小学校低学年までがメインターゲットとなり、他事例での実績を踏まえて500～600㎡程度が適当。
	ホール及び子ども向け施設以外の機能に関する意見	○	○	○	- カフェ・飲食店やスポーツジムは、条件次第では独立採算で運営できる可能性がある。 - コンビニは、事業予定地の現況を踏まえると出店の可能性が低い。 - 子ども向け施設との親和性が高い図書コーナーは、導入検討の余地がある。 - 会議室は間仕切りできる構造が良い。 - 貸室等については、午前・午後・夜間などの区分貸しではなく、時間貸しの方が、手間はかかるが効率良く場所を利用できると考える。 - ギャラリーは他のスペースを活用する形も考えられる。 カフェ・飲食店やスポーツジムは可能性が確認されたが、コンビニの出店可能性は低いことが確認された。
	施設の複合化に関する意見	○	○	○	- チケット確認が必要となるホール利用者その他の機能の利用者との動線分離や、騒音クレームなどに配慮した施設計画とすべきである。 - 子ども向け施設は、両親や祖父母等と一緒に楽しむことができるため来訪者の満足度が高く、利用前後に家族で食事等をするケースが多いことから、まち全体の活性化につながると言える。 - 施設のコンセプトを定め、導入機能のある程度絞った方が良いのではないか。
公共との役割分担について	ソフト的取組の実績と本事業における取組可否	○			【ホールへの興行誘致】実績あり：4社、本事業における取組可否：取組可：2社 【屋外広場等でのイベント開催】実績あり：2社、本事業における取組可否：取組可：2社 【キッチンカーの誘致】実績あり：2社、本事業における取組可否：取組可：2社 【その他】貸室で行う教室や、自社企画のイベントなどを実施可能 日常的に稼働率の高い子ども向け施設は、両親や祖父母も含めて利用するため、まち全体の活性化に寄与することが期待できる。 民間による興行誘致やイベント開催も他施設の実績を踏まえ実施可能との回答が確認された。
	希望する事業範囲	○	○		- SPC立ち上げや運営に余分な手間がかかるためDBOが望ましいが、事業規模が大きければPFIでも参画可能。 - 運営者の中でもカバーできる事業範囲に差があるため、複合施設を単独で運営できる事業者は限られる。 PFIとするには一定の事業規模が必要。
	希望する事業期間	○	○		- 人材確保の面から長期の方が望ましいが、人件費や物価の上昇を考えると、先の見立てが立たずリスクが大きい。 - 事業期間に関わらず、人件費や物価の上昇率等を踏まえて指定管理料を見直せるスキームが必要。 長期での運営委託では、人件費や物価上昇に対応できるスキームが求められる。
	市へ求めること	○	○		- 施設に反映しなければならない情報は、事前に共有してほしい。 - 自治体の所管が異なる機能が入る場合、設計・建設段階、管理運営段階ともに窓口を一元化してほしい。 複合施設ならではの課題が確認された。
事業参画における条件・意見・課題等	想定される配置人数	○			・ 施設自体のつくり、導入機能、管理運営仕様等によるが、類似施設の配置人数を踏まえると10名程度は必要と想定される。
	想定される委託費	○	○		・ 利用料金だけでは賄えないと想定されるため、完全な独立採算は難しく、サービス購入料や指定管理料が必要である。 サービス内容のバランスを考慮した適切な人員配置計画とサービス購入料の設定が必要。
	条件または課題と考えられること	○	○		【条件】利用料金制であること、事業者の裁量の確保、施設全体の一体運営など 【課題】人材確保及び定着など

〈今後に向けて〉

- ・独立採算で成立する付帯事業については、今回提示した用途以外も含めて民間事業者の提案を求めることが想定される。
- ・民間活力導入の効果（VFM）算定のため、モデルプランを提示した上で想定される人員配置や設計建設・運営にかかる費用の削減率、適切な事業手法等について広く意見を収集することが必要。